

教務通信

みんなで伸びる
～夢や志を持ち、可能性に挑戦し、
主体的に人生を切り拓く生徒の育成～

大竹市立大竹中学校
教務部 通信
令和6年9月13日(金)

実りの秋に！

2学期が始まり、2週間が経ちました。今年はまだまだ暑さが続いています。体調管理をしっかりしていきましょう。元気でないと楽しく過ごせませんし、頑張れませんから。本日、中間試験に向けて、試験範囲表・学習計画表を配付しています。自分なりの目標を立て、それが達成できるような計画を立ててみましょう。自分が集中しやすい時間帯・方法を工夫して実行しましょう。実行することで少しずつ力がついてきます。今回は1学期に行った学力テスト【全国学力学習状況調査(3年生4月実施)、TSP(1・2年生4月実施)】について結果をお知らせします。テストはやった時だけでなく、結果を踏まえて次の学習に生かすことが大切です。少しでも効率よく学習し、力をつけていきましょう。

令和6年度 全国学力・学習状況調査(3年生・4月実施)*▼…広島県(公立)より低い

平均正答率	国語		数学	
	本校	▼56%	52%	52%
	広島県(公立)	58%	52%	52%
	全国(公立)	58.1%	52.5%	52.5%

生徒質問紙

「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)をしますか。」

	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分より少ない	全くしない	無回答
本校	4.0	10.9	28.7	37.6	11.9	6.9	0.0
広島県(公立)	7.6	21.2	31.0	19.4	12.1	8.4	0.3
全国(公立)	9.2	22.5	32.6	18.4	10.4	6.6	0.4

「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。」

	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分より少ない	全くしない	無回答
本校	28.7	5.0	17.8	19.8	20.8	7.9	0.0
広島県(公立)	19.4	13.0	20.6	20.1	16.1	9.7	0.9
全国(公立)	16.6	12.4	19.9	21.4	17.7	11.2	0.8

令和6年度 第1回 TSP(4月実施)*▼…全国(公立)より低い △…全国(公立)より高い

(2年生)◎平均正答率

	国語	社会	数学	理科	英語
本校	▼45.0%	▼40.1%	▼34.2%	△52.0%	▼40.7%
全国(公立)	48.0%	45.0%	39.0%	50.0%	50.0%

(1年生)◎平均正答率

	国語	社会	数学	理科	英語
本校	▼43.2%	▼31.1%	▼56.2%	△55.0%	▼81.0%
全国(公立)	47.0%	35.0%	58.0%	51.0%	85.0%

【全国学力学習状況調査から見える本校生徒の課題】

◎本校生徒が苦手としている問題

国語 ・自分の考えを、条件に合わせて記述する問題(全国との比較▼8.7)

・文章を読み取り、適切な解答を選択する問題(全国との比較▼14.3)

数学 ・長い文章を読み取る中で、基本的な知識を活用する問題(全国との比較▼7.5)

・ある事柄が成り立つか証明する問題(全国との比較▼8.9 *無回答率21.0)

◎本校生徒の課題

1. 文章を読み取り、必要な情報を取捨選択したり、基本的な知識を活用したりして答える力

問題文が長く、複雑な場合、問われていることを的確に把握し、必要な情報を取捨選択することが難しい。また、問われていることが基本的な知識であっても、問われていることを読み取ることができず答えられないこともある。

2. 自分の考えを条件に合わせて適切に表現する力

自分の考えを問われたときに、表現しようとしている(本校の無回答率は5%、全国は9.9%)が、条件に合わせて適切に表現することが難しい。条件を満たしているか、確認することができていない。

◎今後の改善策

○授業の中で理由や根拠を説明させる場面を設定し、説明できる手立てを工夫します。

(なぜ?なんで?理由や根拠カード活用)

○試験問題作成において、自分の考えや思いを自分のことばで説明する問題を取り入れます。

また、授業等で長めの文章問題に取り組む時間を設けます。

昨年度から、理由や根拠カードを作り、授業で活用しながら、みんなに説明する場面を仕組んでいます。それだけでなく、学習プリントに理由を書いたりする場面もたくさんあると思います。まずは、自分の考えを表現するようにしてみましょう。また、その説明の仕方も“正しい言葉を使いながら、わかりやすく伝えるにはどうしたらよいか”と考えてみましょう。“自分の答えをよりよくする”という観点で、先生や仲間の言葉を聞いてみるのもいいですね。テストでは、「あなたならどのような考えを述べますか?」と問われたときに、条件をふまえて答える場合が多くみられます。自分の答えがその条件を満たすことができているか、を見極める力も大切になります。

また、長い文章の中で、必要な情報を読み取る力もつけていきましょう。朝読書の時間は自分の好きなジャンルの本を読んでいると思いますが、その時間も大切にしてください。イラストや単語ではなく、文章から場面や状況を想像して、把握することも大切な力です。物語であれば文章から想像力を膨らませることが必要ですが、説明文等であればその中から必要な情報を取捨選択する力も必要です。テストでは、“問われていることに対する必要な情報はどこに書いてあるかを読み取る”力が試されることが多いです。この力をつけるためには、やはりたくさんの文章に触れていくことが必要です。

基本的な知識を定着させるためには、毎日の授業で習ったことを家で復習しましょう。授業ではわかっている、そのままにしておくと忘れてしまいます。何度も繰り返すことで知識は定着し、自分の力になります。忘れたところに、また覚え直してみましょう。定期試験や小テストを利用するといいですね。学習は、毎日少しずつの積み重ねが大切です。

全国学力学習状況調査の質問の中で、気になる項目がありました。1 日当たりの学習時間、及びゲームやスマホを使用する時間です。時間をどう使うかは自分次第です。やりたいこととやらねばならぬこと、このバランスを上手にいきましょう。学習時間とテストの点数は完全に比例するものではありませんが、学習時間が少ないければ成果は上げられないと思います。“どのように勉強するのが効果的か”“自分にあった勉強方法”は、やってみないと見つけられません。今回の試験期間は、トータル43時間を目標にしています。達成者が増えることを期待しています。

頑張ろう!竹中生!!

